

令和4年度 天理幼稚園 学校評価 <教職員用>

令和4年度 天理幼稚園運営計画			A：よくできている B：ほぼできている C：あまりできていない D：ほとんどできてない		
	重点目標	評価項目	評価	成果と課題	
教育目標・教育計画	幼稚園の教育方針、教育目標を明らかにし、望ましい幼児の姿を明確にする	1 教育目標及び重点目標を全教職員が理解している	A	○年度初めに園長より今年度の重点目標について説明を受け共通理解した。毎月の学年会議において指導計画をもとに幼児の実態や育ちから評価、反省、課題、改善面について意見を出し合い、翌月の指導計画に反映できるよう努めたことで、教師間で指導の方針を統一させて援助にあたることができた。また、昨年の反省を生かし週案の振り返り欄に各教師が気付いたことを付箋で貼り、情報交換できるよう努めた。しかし、毎日の忙しさから十分に実施することができなかったため改善の必要性を感じ、方法の検討をする。 ○昨年の反省を踏まえ、感染状況を鑑みながらも幼児の発達に必要な行事や活動を積み重ねられるようコロナ禍においても実施できるよう工夫した。今後も柔軟に対応していく。	
		2 教育課程は教育要領を踏まえ、園長を中心とし教職員と協力し合って編成している	A		
		3 年間の指導計画について各学年及び園としてよく話し合いをし、実施している	A		
		4 教育目標の実現を目指し、信条教育の指導方針を設定している	A		
		5 幼児の実態に合わせた教育内容を精選している	A		
		6 今年度の重点目標を理解し、達成できるよう努力している	A		
教育内容	全て親様のお恵みの中で生かされていることを知り感謝の気持ちをもつ	7 私達の身体は親様からお借りしていることを知り、元気であることを喜び、感謝する心を育てている	A	○日常的な場面をとらえて自分のことも人のことも大切に感じられるように人の気持ちを考え合う機会を作った。また、年長児には助産師による「命のお話」を聞く機会をもった。生命の誕生や生まれた時の両親の思いなどに触れる機会となり、親様からお借りしている尊い命を感じ感謝することができた。 ○うさぎ当番で積極的に取り組む姿を認めながら飼育している小動物や昆虫などのかかり方にも気付けるように話をしたり、経験をすること考え合う機会をもったりしてきたことから少しずつ命の大切さに気づけるようになった。 ○園内外のいろいろな方に草引きをしていただいたり、修理していただいたりしたことを幼児に知らせ、そのおかげで園の環境が整えられ安全に過ごせていることをわかりやすく伝え感謝できるよう努めた。 ○遊んだ物の片づけや制作の材料の使い方などについて丁寧に指導してきているもののまだまだ身につけにくい姿がある。すべてのものは親様のお恵みによってお与えいただいていることを感じられるよう、引き続き丁寧に繰り返し伝えていきたい。	
		8 一手一つに助け合う心を育てている	A		
		9 自然や物を大切にすることを育てている	B		
	主体的に環境に関わり、一人ひとりが自己発揮し、友達と力を合わせて園生活を楽しむ	10 身近な環境に主体的に関わり、試したり考えたり工夫したりして遊ぶ楽しさが味わえるような環境を構成している	A	○幼児が自分で遊具や用具を出し入れしやすいように倉庫内を片付けたり、表示を置いたりして環境の工夫に努めた。今後も幼児が自分で生活を進めていく実感がもてるよう、日々の生活の進め方や行事の持ち方等を見直し、主体的な活動を支えられるよう努める。 ○日常的に友達と協力することの楽しさを感じられるよう援助してきた。年中児は忍者村の共同制作、年長児は神輿の共同制作や秋祭りの企画実施等、意図的、計画的に協働的な遊びの経験ができるよう援助してきた。 ○泣いたり怒ったりしながらも自分の思いを表現しようとする姿を受け止めるとともに思いや考えの伝え方を具体的に知らせたり、教師が言葉を補ったりしながらそれぞれの発達に応じて相手に伝わりやすい方法がわかるよう援助に努めてきた。また、友達の良いところや頑張っているところに気付けるように伝え合う機会を設けたり友達の成果や頑張りに気付く姿を大切に受け止めたこと、相手の思いや考えにも気付こうとする姿が見られた。 ○袖之内町ご協力を得て年長児が秋祭りの神輿体験をさせていただいた。歴史ある町内の本物の神輿に触れたり曳いたりさせてもらい貴重な経験ができた。また、たくさんの袖之内町の方々で神輿の組み立てや引率をしてくださり、地域の方と交流をもつことができた。	
		11 直接的な感動体験を積み重ね、経験したことを生活に活かすことができるよう援助している	A		
		12 友達との関わりの中で互いの意思や考えを共有し、協力して実現しようとするよう援助している	A		
		13 自分なりの思いを表出するとともに相手の思いや考えに気付く受け入れられるよう援助している	A		
	研究・研修	園内研修を計画的に実施すると共に園外研修に積極的に参加し、教職員の資質を高める	14 外部講師による講義や公開保育の実施など計画的な園内研修を行い、教師の資質向上に努めている	A	○園内公開保育を行い、幼稚園教育理解推進事業の文科省から出される協議主題に基づき、教師間で協議を深めることができた。また、昨年に引き続き、子ども地域支援事業として奈良県障害者総合支援センター作業療法士に訪問いただき、カンファレンスを含む研修を行った。今後も計画的に研修を実施し、教師の質の向上に努めたい。
			15 幼児期の発達や学びの特質を踏まえた記録の在り方について研究している	B	
	特別支援教育	配慮を必要とする幼児の実態を理解し、その幼児に応じた指導、援助を行う	16 配慮を要する幼児の課題と支援方法について保護者、専門機関、小学校と連携を深め支援にあたっている	A	○日々の保育の中で気になる幼児の姿を出し合い、課題と手立てについて話し合い、共通理解できるように努めた。また、教育心理相談室心理士による巡回相談での助言を手立ての参考とするともに各療育施設やリハビリテーションセンターと交流を図り情報交換に努めた。支援を要する幼児が多く在籍しているの特別支援個別指導計画作成の工夫の必要を感じる。教師間で検討し、役割分担を明確にするとともに、今後も、保護者、専門機関、小学校などの連携に努め、配慮を要する幼児のより良い支援に努めたい。
	組織	組織の中の一人としての自覚を持つと共に教職員間の協力体制を築く	17 担任が抱える問題を組織的に取り組む体制を整えている	B	○クラスの実態について常に報告することにより担任が抱える問題をチームで考えることができるよう努めた。また、各分掌、各学年の連絡事項などでもできる限り伝え漏れのないように努めてきたが、預かり保育の関係で連絡会や職員会議に全教師が集えない実態から聞き漏れなどもあった。細かいところまで連絡し合える関係づくりと連絡方法の工夫をしていきたい。 ○幼児の遊びを記録したものを教師間のグループで伝えあう取り組みを始めて3年目になる。昨年の反省から役割表を作成し、週に1回少人数で話し合いをするようにしたところ、各事例に対してより活発な意見が出された。また、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を考え合い、一人ひとりの育ちについての意見交換ができた。
			18 各分掌、各学年の連携を十分にとっている	A	
			19 全園児について共通理解をもち、発達に応じたきめ細かい指導、援助をしている	A	
保護者との連携	保護者との連携を大切にし、信頼関係を築く	20 教育方針、目標、計画などを保護者に明示している	A	○頻繁にホームページやお道のニュースに園での行事や活動を公開し、保護者の方に園生活の様子を知らせた。 ○昨年度の反省や経験を活かし、感染症の状況を見極めながらも家庭訪問、参観日、保護者参加行事を実施できるよう工夫した。 ○幼児の姿から必要に応じて懇談の日を設けたり教師側から声をかけたりして、親御さんの思いを受け止めたうえで課題についての手立てを考えあう機会をもった。子育ての悩みや相談を受けられるよう努めてきたが、保護者にとっては、教師の忙しい姿から相談しにくいという声を伺った。多くの保護者に不安や心配事があることを踏まえ日常的に声をかけ、相談していただける雰囲気づくりを心掛けた。 ○昨年の保護者アンケートより長期休業中の預かり保育実施についての強い要望があったことを受け、天理市や奈良県私立幼稚園の実施状況を調べ、教師間で話し合いを重ねた。その上で学校本部と相談し、次年度実施に向けての準備を始めた。	
		21 園の教育活動や園全般の情報を保護者へ提供している	A		
		22 子育ての悩みや相談を受けられるような場や時間を確保している	B		
		23 保護者からの要望や苦情に適切に対応している	B		
安全管理・保健	幼児の安全や保健・衛生管理について、体制やシステムを周知徹底する	24 安全・健康な生活に必要な習慣や態度の育成をしている	A	○保護者証を発行し、不審者侵入に対する防犯意識を高めるなど、安全教育・防災に関する年間計画、危機管理マニュアルを見直し改善した。また、静岡県園のバス置き去り事件を受け、バス通園の安全管理マニュアルの見直しを直ちに行い、乗車園児の名簿作成と人数把握、園長への報告・記録、乗車時降車時の安全確認を複数で行うことなど改善点を明確にし、バス運転手の安全チェックシートを作成した。また、改善策を保護者に知らせ安心して乗車していただくよう努めた。 ○新型コロナウイルス感染対策を実施しながらも幼児に必要な行事や活動が実施できるよう努めた。 ○預かり保育を利用する人数が増え、安全に保育ができるように常に友友会室も利用し、2部屋で保育ができるように環境を整えた。	
		25 衛生指導の徹底と保護者に保健や衛生の情報を提供している	A		
		26 安全教育・防災に関する年間計画、危機管理マニュアルの共通理解を図っている	A		
施設・設備	施設・設備の環境整備、整理整頓を行う	27 園舎、園庭、保育室の環境整備、整理整頓している	B	○日常的に安全点検すると共に毎学期ごとに安全チェックリストに沿って点検を行っている。今年度は、うめ組前廊下の床材張替え、年少組廊下のリュック掛けの高さの調節、窓ガラス破損防止対策、バスガレージのシャッターの土台修理、トイレの詰まり修理を行った。また、落雷による電気関係の故障が様々などところに出て、関係機関に修繕をしていただいた。今後も老朽化等に伴う施設設備の安全点検を心掛け、幼児が安心して遊べる環境づくりに努める。	
		28 施設、設備について日常的に安全点検をしている	B		
		29 省エネルギーへの配慮を心がけている	B		
		30 備品や教材、用具、材料を適切に活用している	A		